山口小学校　H29　　重点目標の進行管理表 （1学期）

学校教育目標　　学ぶ力　＋　豊かな心　＋　たくましさ　＝　人間力（総合力）

目標	達成指標	重点的取組	到達イメージ	取組指標	4月	5月	6月	担当	統括
学びに向かう力の育成	《学期》 〇『生活アンケート』で、「授業が楽しい・自分の考えを持つことができた・考えを伝え合うことができた」と思う児童が、8割以上。 〇国語・算数の学期末テストで80点以上が8割以上。 《年間》 〇2学期末の中津市学力調査で全学年全国偏差値以上。	〇国語・算数を中心に課題解決型単元課題のある授業を学期に1つずつ以上行う。 〈国・算に焦点を当てた課題解決型授業づくり〉	〇課題に対して自分の考えを持ち、交流などの場面で自分の考えを進んで伝えたり、聴き合ったりしている。	〇互見授業の事後研で、自撮りの板書をもとに振りかえりを行い、意見を出し合う。授業者は成果と課題をまとめる。 〇単元まとめ時に、「単元振り返りシート」を記入させ学びを振り返らせる。	〇互見授業の事後研で、自撮りの板書をもとに振りかえりを行い、意見を出し合う。授業者は成果と課題をまとめる。 〇単元まとめ時に、「単元振り返りシート」を記入させ学びを振り返らせる。	・「めあて、課題、まとめ、振り返り」設定の確認 〈板書等の写真撮影も行う〉 ・算・国で協同学習の場を設定 → ＜アンケート実施＞ ・楽しい　　74% ・自分の考えを持つ　66% ・考えを伝える、聞く　67%	・構造化されたり、思考の場になったりした板書を写真に残し、ファイリングする。 ・交流の視点を明確にした必然性のある協同学習の場を毎時間設定する。 ・学びの成果に視点を当てた振り返りを毎時間ノートに書かせる。	学力チーム	宮瀬
		〇国語・算数の授業で単元の学習評価シートを使って1時間ごとの評価を行い、指導を行う。	**〇授業のねらい（評価規準）に到達する。到達しない場合は、補充学習（組織的）でねらいに到達する。【6月から】**	〇国語・算数で1単元で評価・見取りに取り組み、その成果と課題を出し合い、まとめる。 〇算数で1時間毎の児童の理解度（◎〇△）を把握する。	→ （授業者のセルフチェック） → （週一度ノート評価）	・のび～るタイム、放課後等に補充学習に取り組ませ、つまずきの解消を図る →	・評価規準を意識した授業を行い、週チェックシートにチェックし、教務に報告する。 ・のび～るタイム、放課後等に補充学習を担任、教務主任、学力向上支援教員を中心、確実に実施する。		
自ら判断し、落ち着いて行動できる子の育成	〇『生活アンケート』で、「時間を意識して行動している」と答える児童が、8割以上。	〇始業、終業の合図を守る。	〇始業の合図の時には着席し、学習用具が準備できている。 〇早めに行動を始めることで、廊下を走らなくても始業に間に合うようにできる。	〇始業の合図と同時に授業や集会などの活動を始め、終業の合図と同時に活動を終える。	〇始業の合図と同時に授業や集会などの活動を始め、終業の合図と同時に活動を終える。	→ ＜アンケート実施＞ ・チャイムの合図を守る　70% ・石鹸で手洗い　　97%	→	生活チーム	清水
	〇『生活アンケート』で、「あいさつを進んでしている」と答える児童が、8割以上。	〇あいさつの声を出す抵抗をなくす。	〇「自分から」あいさつができる。 〇「いつでも、どこでも、誰にでも」気持ちのよいあいさつができる。	〇「始業・終業のあいさつ」「集会でのあいさつ」を全員そろってさせ、声が小さい時はやり直しをさせる。 〇登校中に出会った人には、自分たちから、登校班全員であいさつをする。 〇毎週水曜日の一斉下校で、各地区担当が、登校中のあいさつの状況を把握する。	〇「始業・終業のあいさつ」「集会でのあいさつ」を全員そろってさせ、声が小さい時はやり直しをさせる。 〇登校中に出会った人には、自分たちから、登校班全員であいさつをする。 〇毎週水曜日の一斉下校で、各地区担当が、登校中のあいさつの状況を把握する。	→ 〇毎週水曜日の一斉下校で、各地区担当が、登校中のあいさつの状況を把握するとともに、登校中に出会った人には、自分たちから、登校班全員であいさつをするように指導する。 ＜アンケート実施＞ ・家庭　　88% ・登下校中　89% ・学校で　　66%	→ 〇毎週水曜日の一斉下校時に、各地区担当が、登校中のあいさつの状況を確認し、生徒指導、教務主任、が把握する。 〇児童朝会、学活、一斉下校時で、登校中に出会った人には、自分たちから先にあいさつするよう担任、生活指導主任が指導する。		
運動好きな子の育成	≪技能≫ 〇「体力テスト」で、全学年「握力」が、全国平均以上。 （調査月：4月・2月） ≪意識≫ 〇『生活アンケート』で、「体を動かすことが好き」と答える児童が8割以上。	〇握力向上をはかるサーキットトレーニングや活動に継続的に取り組む。	〇休み時間などに、雲梯やのぼり棒などの遊具で遊んだり、ドッヂボールをしたりしている。 〇掃除の時に、机を持ち上げて運んでいる。	〇体育の授業で行うサーキットトレーニングに「握力が向上する」種目を取り入れ、継続的に取り組む。 〇掃除の時に、机を持ち上げて運ぶ指導を繰り返し行う。	〇体育の授業で行うサーキットトレーニングに「握力が向上する」種目を取り入れ、継続的に取り組む。 〇掃除の時に、机を持ち上げて運ぶ指導を繰り返し行う。	→ ・「修行カード（握力の巻）」実施 →	→ 〇「修行カード」（握力の巻）で目標を達成した児童を全校に紹介することで、意欲の継続化を図る。 →	体育チーム	中村
		〇縦割り班を活かして、全校一斉の運動に取り組む。	〇中休みや昼休み、縦割り班活動の時などに、楽しみながら運動に取り組んでいる。	〇毎月1回、火曜日の1校時に、体育委員会が呼びかけ、縦割り班でドッヂボールや綱引きに取り組む。	〇毎月1回、火曜日の1校時に、体育委員会が呼びかけ、縦割り班でドッヂボールや綱引きに取り組む。	→ ・「パワーアップ集会」（縦割り班対抗・十字綱引き）実施 → ＜アンケート実施＞ ・体を動かして遊ぶ　　78%	→		